

山形新聞 2025.04.20(23面)

山形新聞社の許可を得て掲載



新庄北・南高
統合見据え合同オリエンテーション

探究学習 こうやるんだ

新庄市の新庄北高(大山建一校長)と新庄南高(森美千子校長)が来年統合し「新庄志誠館高」となるのを見据え、探究型学習合同オリエンテーションが17日、新庄北高で行われた。2年次から共に学ぶ1年生108人が、講義とワークショップ

新庄市の新庄北高(大山建一校長)と新庄南高(森美千子校長)が来年統合し「新庄志誠館高」となるのを見据え、探究型学習合同オリエンテーションが17日、新庄北高で行われた。2年次から共に学ぶ1年生108人が、講義とワークショップを通して探究学習の基礎を学んだ。

両高は「総合的な探究の時間」の授業を行っており、統合後もスムーズに取り組めるよう実施した。東北芸術工科大学のプロダクトデザイン学科 柚木泰彦教授が「デザイン思考を活用した探究型学習の進め方」と題し、課題解決に向けたアイデアの考え方などについて講義した。

生徒たちは3、4人のグループに分かれ、生徒ごとに設定した課題について意見を交わし、解決案を考え出した。新庄北高の土田華なさん(15)は「高校に関係なくしゃべれた。いろいろなアイデアをもらえて新鮮だった。新庄南高の五十嵐寛将さん(15)は「意見を共有して視野を広かった。発表に共感してもらえてうれしかった」と話した。(松浦優人)